

DVD制作販売会社と銀行のかかわり

銀行のはたらき〈貸出〉〈資金仲介〉のはなし



DVDには先行販売特典のメイキング映像が入っていました。

メイキングでは、約1年の制作期間にカメラマンや音響さんなどいろいろな人がかかわって、DVDが作られる様子が紹介されていました。

DVDが完成すれば、販売した代金が会社に入ってきますが、それまでの制作費用はどうしていたのでしょうか?

この章に登場するキーワードをCheck!

- ・ **貸出**…資金を必要としている人にお金を貸すこと。銀行の三大業務の一つ。借り手は個人、企業、地方公共団体など。
- ・ **資金仲介機能**…預かったお金を、資金を必要とする人に貸し出す「お金の仲立ち」をする銀行の重要な機能。
- ・ **信用創造機能**…預金と貸出を繰り返すことで、世の中で使えるお金を増やす、銀行特有の機能。

貸出のはなし ①



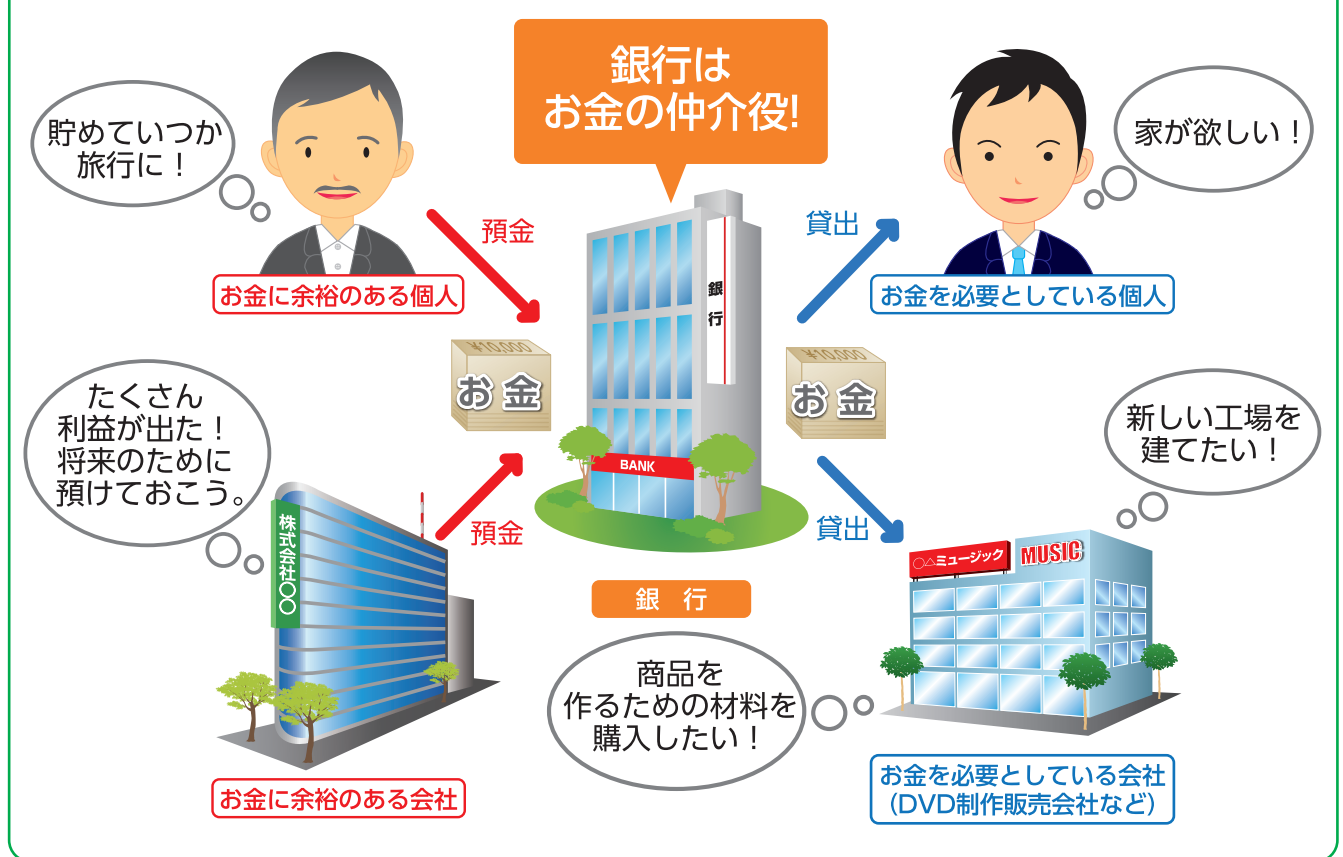
DVD制作販売会社はどのように資金を調達しているのだろう？

お金を必要としている人に貸す 「貸出」のしくみ

DVD制作販売会社のように、会社は商品を作ったり、人を雇ったりするのに、「資金」を必要とします。会社は、この必要な資金をどのようにして調達するのでしょうか。

銀行は資金を必要としている個人や会社、国などにお金を貸しています。これを「貸出」といい、「為替」「預金」と並ぶ銀行の三大業務の一つです。資金が不足していた会社は、この「貸出」により商品を作って販売することができるようになります。銀行が貸し出すお金は、たくさんの人から預かっているお金なので、必ず返してくれる相手かどうかをきちんと調べて、貸し出すかどうかを決めています。

預金と貸出の関係



わたしの預金もだれかの役に立っているのね。



銀行は、お金に余裕のある人から必要としている人へお金の橋渡しをしています。

お預かりしたお金を大切に運用しています!



さらに詳しく 借りたいお金はいくら返すの？

借りたいお金は、借りたい金額だけを返すわけではありません。借りたいお金(元金)に利息*を足して返します。

$$\text{返すお金} = \text{元金 (借りたいお金)} + \text{利息}$$

*詳細は、P.9を参照

貸出のはなし ②



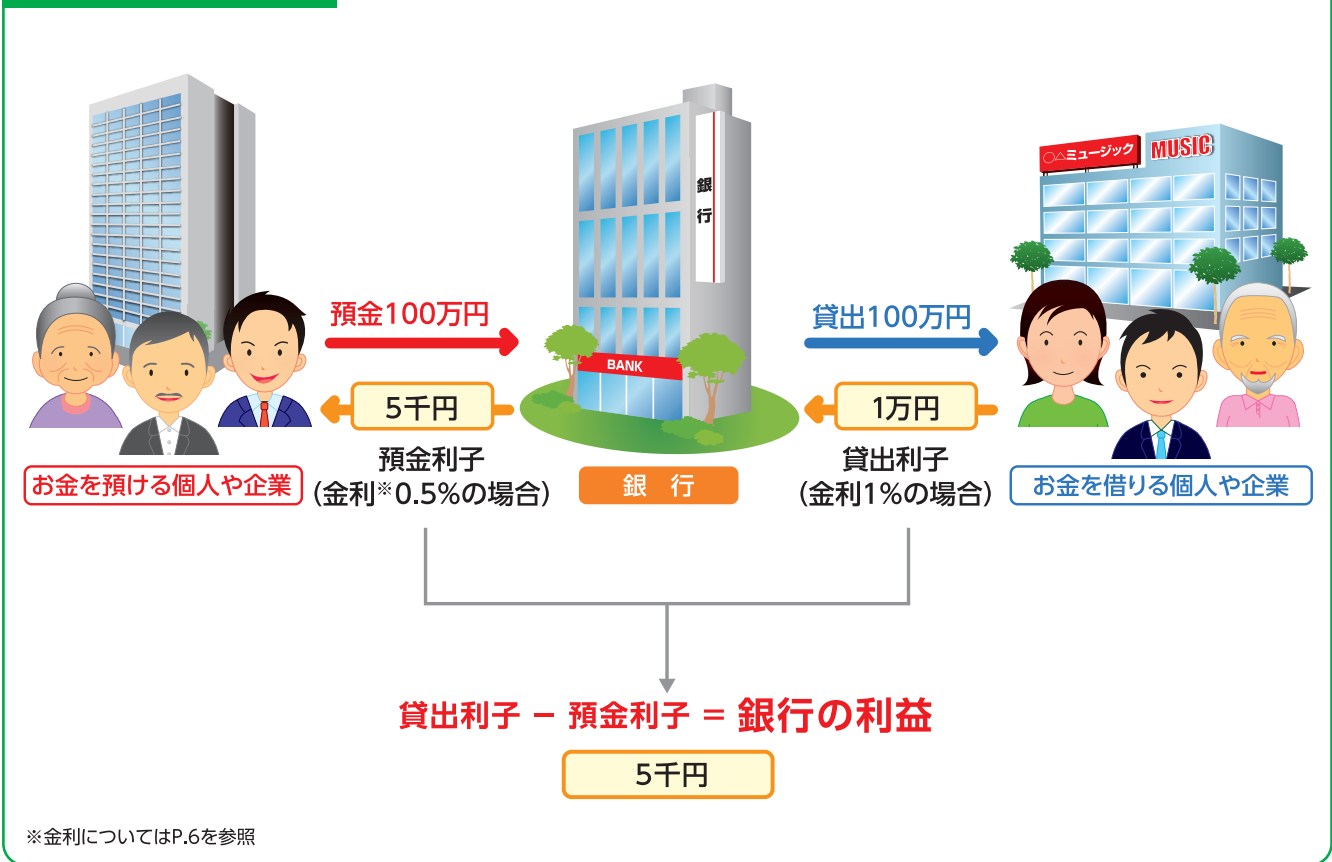
銀行はどのように利益を得ているのだろう？

「預金」にも「貸出」にも
利子がつく

DVD制作販売会社にお金を貸した銀行ですが、銀行も一つの企業なので利益がないと成り立ちません。では、銀行はどのように利益を得ているのでしょうか。

銀行は預金者に支払う利子(預金利子)よりも多くの利子を借り手からもらうこと(貸出利子)で、その差額を利益として得ています。

銀行の利益を得るしくみ



利益から銀行経営にかかわる人件費などの諸経費を支払います。

銀行は、貸出業務で利益を生み出し、預金者に利子を支払います。

銀行も企業の一つなんです。

さらに詳しく 金利の決まり方

金利は返済期間、お金の使いみち、借り手の信用度、担保※の有無などによって決まります。一般的には次のようになります。

	返済期間	使いみち	信用度	担保
金利が高い	長い	自由	低い	ない
金利が低い	短い	限定	高い	ある

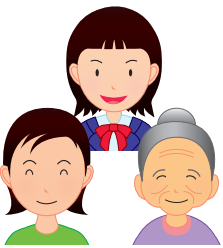
※担保とは…お金を返せなくなってしまったときに備えて、お金を貸す側に提供しておく権利や財産のこと。

発展ワーク なぜ銀行を利用してお金を貸し借りするのか？

Q お金に余裕のある人が、お金が必要な人に直接貸さないで、なぜ銀行を使うのかを考えてみよう。

- お金を貸し借りするときに決めておいた方がよいこと(条件)を考えよう
- 貸す人と借りる人の条件をどのように合わせるか、そのときに課題になることを考えよう
- 銀行が仲介する理由を考えよう

資金仲介のはなし



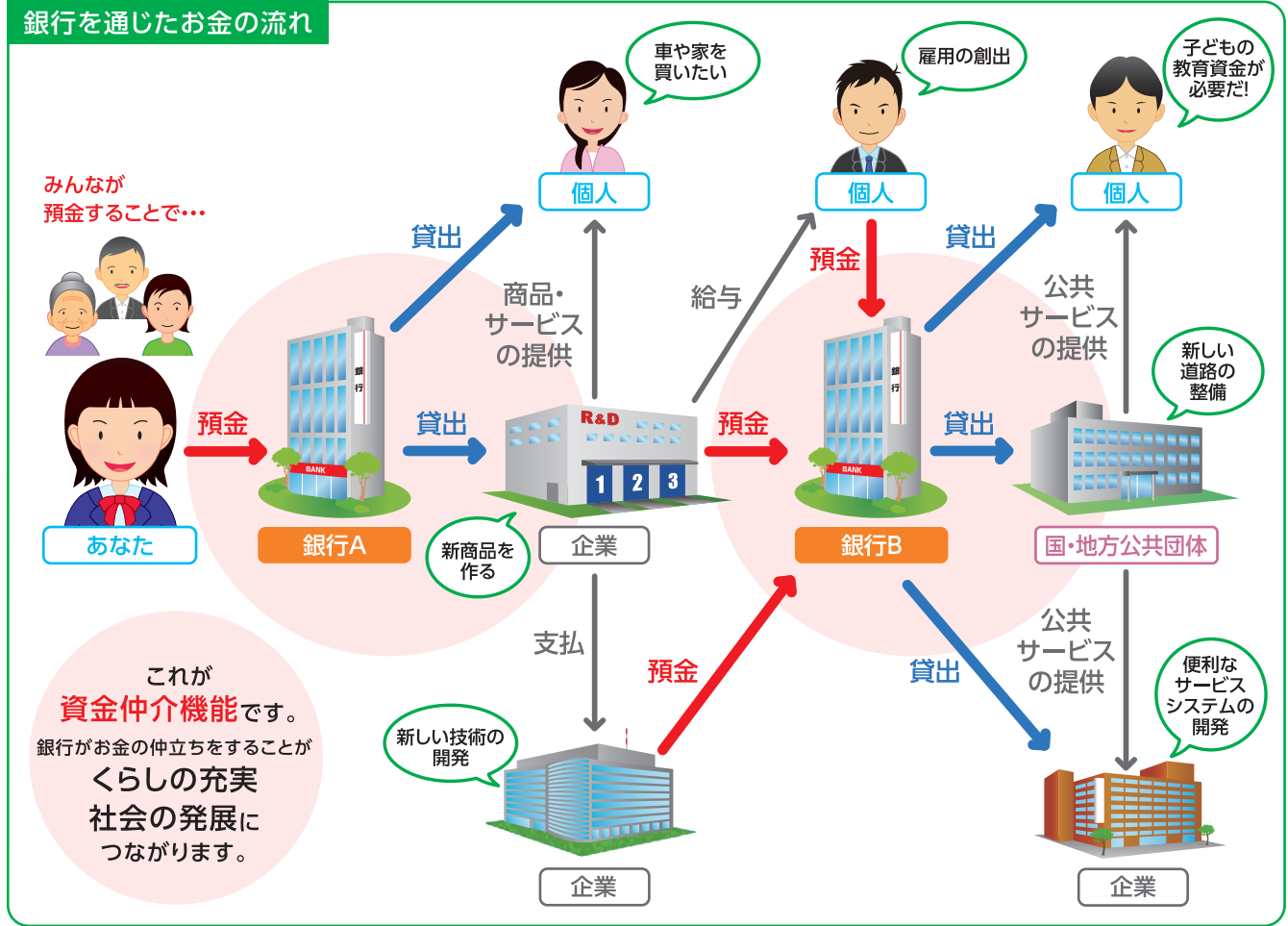
銀行はどのように世の中の役に立っているのだろう？

社会の中での銀行の役割

もしDVD制作販売会社が銀行からお金を借りられなかったら、DVDを制作販売することができなくて、その会社や会社の従業員、あるいは、DVDを作ろうとしていたアーティストやDVDを買おうとしているあなたたちは困ってしまいます。このように銀行は預金や貸出を通じて、多くの人と関係して社会で大切な役割を担っているのです。

銀行が「預金」「貸出」業務を通してお金の仲介役をすることを「**資金仲介**」といいます。企業は借りたお金で人を雇ったり、設備を整え、より良い商品やサービスを社会に提供できるようになり、個人は良い商品やサービスを手に入れられることとなります。このように銀行は社会の豊かさを支える大切な役割を担っています。

銀行を通じたお金の流れ



銀行がお金を有効に活かしているんですね。

銀行の資金仲介機能は、経済発展に貢献し、豊かな社会を作る役割を担っています。

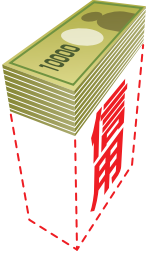
社会の発展に役立つところにお金を貸し出しています！

コラム 「銀行の銀行」～日本銀行

日本銀行は「日本の中央銀行」であり、「銀行の銀行」として、銀行にお金を貸し出したり、銀行間の資金決済を行っています。銀行どうしで行われている膨大なお金のやりとりがスムーズにいかなくなると、国の経済全体に影響が出てしまうため、不況の際に金利などを低くしたりすることで、世の中に出回るお金を増やすなど、物価の安定と経済の発展を支えています。また、日本で唯一の「発券銀行」として、紙幣(日本銀行券)を発行したり、「政府の銀行」として、税金などの政府のお金の出し入れを行っているのも日本銀行です。



信用創造のはなし

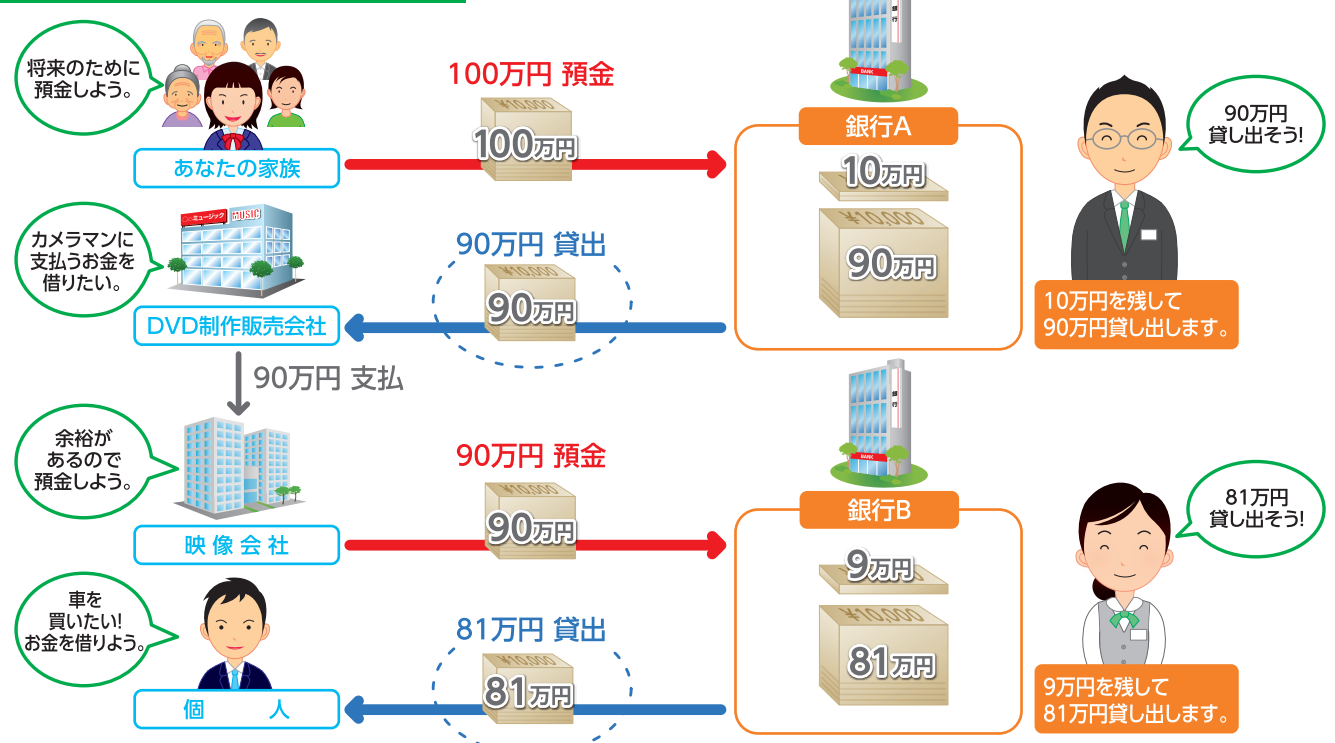


預かったお金を貸し出すと世の中のお金が増えるってどういうこと？
信用によってお金を増やす
銀行の機能

銀行がたくさんの人から預かったお金をDVD制作販売会社などに貸し出すことが、社会の発展につながっていることがわかりました。でも預けた預金が無くなってしまふ心配はないのでしょうか。

銀行では預金の引き出しに備えて、ある一定の割合でお金を残して、貸し出すことにしています。このとき、最初の預金以上のお金が世の中に出回るといふマジックが起こります。これを「**信用創造**」といい、銀行特有の機能の一つです。

世の中のお金を増やす銀行のしくみ



100万円 預金 → 171万円 貸出合計 (90万円 + 81万円) (貸出 90万円+81万円)

最初は100万円だった預金から、171万円の貸し出しを行うことができました。世の中で使えるお金が171万円に増えました。

このしくみは銀行に信用がなくなると預金する人が減るために成り立ちません。

私が預金することで社会のお金が増えるって不思議ですね。

銀行の取引を通じて社会全体で使えるお金が増え、経済発展に役立ちます。

私たち銀行への信用があるからこそみなさんが預金してくれるのです。

まとめ

個人や企業などがお金を必要とするときに、銀行の預金が貸し出されて使われていました。銀行が仲介役をすることで、社会の中でお金が有効に使われていることがわかりましたね。次はアーティストと銀行のかかわりについてみてみましょう。

